

授業概要

社会調査のプロセスにおいて、現地において実際に行う調査活動を総称して「フィールドワーク」という。広義には調査票を用いた量的調査もここに含むが、本講義においては質的調査に重点を置きながら、その意義と方法を学習する。

社会調査においては一般に、企画、設計、実査、データ整理、分析、報告、という手順をふむが、何よりも重要なのは「何をあきらかにしたいか」という問題意識とその質である。本講義においては社会学におけるフィールドワークの歴史を辿りながら、フィールドワーク II における実査に向けて、理論や基礎概念を学び、同時に、基礎的な技法としての記録の取り方、まとめ方を学習する。

本講義は学外授業で現場に直接出かけることを基本とする。不参加の場合、単位修得は不可能。学外授業では、言葉遣いや服装なども指定する。但し、コロナ禍等で状況が悪化した場合は改めてリモート等、指示する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	フィールドワークとは何か
第 3 回	フィールドワークの歴史
第 4 回	質的調査と量的調査の違い
第 5 回	質的データの分析方法
第 6 回	研究テーマの決定に向けて 1
第 7 回	研究テーマの決定に向けて 2
第 8 回	予備調査の計画立案 1
第 9 回	予備調査の計画立案 2
第 10 回	記録の取り方(音声記録、映像記録、フィールドノート、他)
第 11 回	予備調査(シミュレーション)
第 12 回	予備調査データを文字データへ変換(書き起こし)
第 13 回	予備調査データのとりまとめ、報告用レジュメの作成
第 14 回	予備調査結果の報告・発表
第 15 回	予備調査の反省と問題意識の確認
第 16 回	報告書提出

到達目標

- ・ 質的調査やフィールドワークの歴史や理論、概念の学習。
- ・ フィールドワークのための基礎的な方法や技法の学習。
- ・ 問題意識の共有とワーキンググループの形成。

履修上の注意

本講義はフィールドワークを実際に行い、報告を行うことまでを目的とするため、I と II を連続して受講することを必須とする。実際の調査を行うことから、受講者個々人が責任を持って主体的、積極的に関わることを求める。授業形態はゼミ形式を採用する予定だが、状況次第で別の方式になる可能性もある。

講義内容の学習が覚束ない場合は、先方に迷惑がかかるため、途中リタイアと判断することもあり得る。

予習復習

設定した自身の調査テーマに則した情報収集結果を毎回報告してもらう。

評価方法

平常点（授業態度と課題への取り組み方等）40%、報告書作成 60%

テキスト

テキストは指定しない。必要に応じてプリントを配布する予定である。